

・プロジェクト主催団体：Pay it Forward

先進国から後進国へモノやサービスを提供し、後進国から先進国へ心の豊かさと気付きを提供し、その一連の活動を通して関わる人々の利他の心を醸成し、持続可能な社会経済の実現を目指している NGO 団体。

・寄付先団体

1. National Borey For Infant and Children Association
2. Future Light Orphanage of Worldmate

・プロジェクト概要

1. 日本国内で株式会社エコランドが回収したマットレスをプノンペン市内の障がい者施設（National Borey For Infant and Children Association）に寄付をするプロジェクト
2. 野口倉庫株式会社様から提供いただいた文房具をプノンペン市内の孤児院（Future Light Orphanage of Worldmate）に寄付をするプロジェクト

・寄付の様子

1. National Borey For Infant and Children Association



約 40 年前に設立された National Borey For Infant and Children Association は、150 人近くの施設利用者に対し、半数の 70 人で利用者のケアをしています。そのため、自力でトイレに行くことができない子どもたちのケアをしやすいう、おもらしをしても掃除することができる防水加工をしたマットレスを寄付しました。





障がいの重さによってクラス分けがされており、生活の世話をする対象から、遊びを行うクラス、体の強張りをほぐすマッサージや歩くためのリハビリなど、それぞれに合わせたケアを行っています。



## 2. Future Light Orphanage of Worldmate

現在、67人の子どもたちを育てている Future Light Orphanage of Worldmate は、公立の学校に通う以外の時間帯に、英語とパソコンのクラスを開催し教育に力を入れています。学校では勉強しない分野の英語やパソコンのスキルを上げることで、将来の仕事に就きやすくなります。



公立の学校には誰でも通うことができますが、文房具は自分たちで用意する必要があります。また、孤児院の子ども以外の周辺に住む子どもたちでも、英語やパソコンのクラスに参加ができるので文房具があれば、学ぶことができる子どもたちが増えます。

